

設 立 趣 旨 書

私たちは、1972年に出版されたローマクラブの「成長の限界」の中で書かれている、「今後、現在のよう
な経済成長が続けば、これから100年のうちに、成長は限界に達する。起こりうる可能性の高いことは、
人口と工業力の突然の制御不可能な減少であろう。」との報告に強い驚きと危機感をいただきました。私た
ちは、もはや未来を楽観できなくなりました。すでに各地での気候の変動が起こり、現在80億の世界人口
は、毎年8000万人上積みされています。また当然ながら、その地球規模の問題解決には、日本だけでな
く、国境を越えた連帯が必要であることは、言うまでもありません。そして、その問題の解決にあたるの
は、私たちの世代が始まりであり、次の世代、またその次の世代へと続いて行きます。

それでは、これらの地球規模の課題に、具体的にはどのように取り組んだらよいのだろうと考えてきまし
た。そして、やはり私たちが発信して、若い世代の人たちが、国や地域や民族や宗教の違いを乗り越え
て、それぞれの違いを認めながら、地球規模で連帯できるように、まずは、それぞれの国の素晴らしさを
感じることができるよう取り組みを実践しようと考えました。

そのために、「湘南とアジアの若者による未来創造事業 実行委員会」を立ち上げ、個々のネットワー
クをフルに活用して、インドネシアの大学の日本語学科の学生を日本に招き、湘南の中高生を中心とした交
流を始めました。今年で32年になりました。その中で、両国の悲しい過去の歴史を学び合い平和への気
持ちを一つにしたり、障がい者のおかれている環境や貧困の問題など、それぞれの国で異なる実情を、実
際に自分の目で見て触れて、思いを新たにする場面を数多く作ってきました。そうした活動の中から、現在
取り組まれている、湘南の中学生が手作りした手提げに、日本の絵本を入れてインドネシアに送り、現地
で翻訳して、孤児院等の貧困に苦しむ子どもたちの元を訪ねるという、国際的にも稀にみる展開を見せて
いるものもあります。

そうした一つひとつの小さな芽を、長期にわたりほんとうに多くの方々のご厚意によって支えていただい
て、今日まで来ることができました。ほんとうに、ありがとうございました。

これからの私たちには、これまで展開してきた事業をしっかり評価して、更なる活動の場の展開と持続
可能な活動基盤を構築して行くことが求められていると思います。それは、多くの助成団体から、個人の
事業から法人としてのステップアップを求められることが多くなってきたことにも象徴されるように、運営す
る基盤を、より透明性が高く、もっと広く多くの人たちに応援していただけるような団体へと発展させること
が最も重要な課題であり、次世代へ継承できる形にして行くことこそが、これからの私たちの大きな使命で
あると確信するからです。また、そのためには、透明性が高く、より多くの皆さんからご支援をいただける
法人格は、特定非営利活動法人が、最も適していると思います。

そこで、私たちは、これまでの活動を湘南とアジアの若者の未来のために、ここに特定非営利活動法人
湘南とアジアの架け橋を設立したいと思います。

2025年

6月

29日

法人の名称 特定非営利活動法人湘南とアジアの架け橋

設立代表者 和賀井稔